

工業科目「生産システム技術」における 既習事項を活用して知識の習得を図る指導の工夫

ーレベルカード・ラミネートワークシートを活用したグループワークを通してー

特別研修員 工業 天宮 賢也 (高等学校教諭)

～ 目指す生徒像 ～

既習事項を生かせる生徒・自分の理解度を客観視できる生徒

ここまでしっかり理解できました!



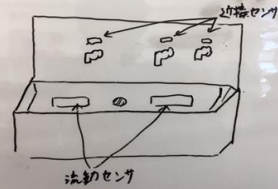
自分の理解度は不十分かな?

- 青** : 理解十分。他人に教えらるるレベル。
- 黄** : もう少し詳しい説明が必要なレベル。
- 赤** : 理解不十分。手助けが必要なレベル。

手立て1

「レベルカードの活用」

- 自分や周囲の取組の理解度を可視化
- 理解度の把握により授業進度を調整
- 生徒同士・生徒と教師の対話を促進



「本時の成果」
水道の水滴を吹き飛ばして、常に乾いた状態にして掃除を楽にするアイデア

このセンサと機械を使って解決できそうだ!!



図で表すと具体的に理解できて分かりやすいね!

みんなの意見をまとめてみよう!

手立て2

「ラミネートワークシートの活用」

- アイデアの熟考
- 思考のアウトプット (作図、言葉)
- 他者の考えを視聴
- 思考の整理と共有



～ 生徒の実態 ～

- ① 授業や課題解決に既習事項を生かし切れていない
- ② 自分自身の理解度を把握できていない

「本時の課題」

学校生活を快適にするアイデアを考えよ!!

～ 教師の思い ～

- ① 既習事項と関連付けた知識を習得させたい
- ② 生徒の理解度を把握したい

成果 🚀

- レベルカードの活用
発言が苦手な生徒でも意見や意思を表現する機会を設けることができた。
- ラミネートワークシートの活用
・アイデアを熟考し、整理することができた。
・自他の考えを共有することができた。

課題 🐟

- レベルカードの活用
カードを選んだ理由を考えたり、書き出したりすることで、学びへの意識を高めていく必要がある。
- ラミネートワークシートの活用
生徒が主体的に日々の学習に取り組めるように工夫する必要がある。